

7 その他

区	地域コミュニティ協議会	活動名
東	東山の下地区コミュニティ協議会	民生・福祉部会活動
東	新潟市木戸地域コミュニティ協議会	新潟市協働事業提案モデル事業 (東区工場夜景バスツアー)
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	花いっぱい事業
江南	亀田東小学校区コミュニティ協議会	地域の茶の間「しののめ」
秋葉	新津東部コミュニティ協議会	第1回 東部コミ協「夏祭り」
西	西内野コミュニティ協議会	西内野あいさつ運動
西	コミュニティ中野小屋	親子三代ふれあい会
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪プレーパーク 8
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	トラック事故防止の交通安全教室
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	交通安全ボランティア活動
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	広報紙「さかい輪」発行
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪中学校区「小学生と中学生が楽しく学ぶ防災」
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	子どもの居場所事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	文化と健康づくり事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	連合自治部広報紙「大道」発行事業
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	「狭あい道路の解消」 行政コンサルとの共同研究参画(継続)
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	私たちの海岸保安林保全活動(継続)
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	真砂文化祭開催事業
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	青少年健全育成部会事業
西	山田校区ふれあい協議会	夏休み前のふれあいクリーン作戦

東区 東山の下地区コミュニティ協議会

活動名：民生・福祉部会活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

・高齢化が進む中、高齢者を地域で支えていくためには、福祉活動の拡大と充実が必要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

・福祉活動の三大事業として実施している「敬老お楽しみ会」、「福祉研修会」、「歳末ゲーム大会」について、内容を検討し、多くの方に参加してもらうことを目標とした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 敬老お楽しみ会（9月13日、参加者：約250名）
 - ・吹奏楽（藤見中学校吹奏楽部）、落語（三流亭楽々）、踊り（日本舞踊）、歌曲・合唱、ウクレレ演奏、マジック、ストレッチ体操（包括支援センター）等
- ② 福祉研修会（11月18日、参加者：約100名）
 - ・東区健康福祉課、東区社会福祉協議会、地域包括支援センターの説明
 - ・地域で発生した「介護・見守り」に関する事例紹介
 - ・7ブロックに分かれたグループ討議（自治・町内会の「見守り支援策」について）
- ③ 歳末ゲーム大会（12月20日、参加者：約350名）
 - ・全員参加のビンゴゲーム、子供たちによる千本釣りゲーム、カルタ取り「中地区たまげたカルタ」、紙芝居（じゅんさい池と竜神様、大瀬の長者）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

“地域包括支援センター山の下”の協力を得た。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 敬老お楽しみ会：新しい演目の導入、特に振り込め詐欺についての落語には拍手喝采を得た。
- ② 福祉研修会：事例紹介やグループ討議を通して、関係者の意識向上が図れた。
- ③ 歳末ゲーム大会：会場が満員となる約350名の参加を得て、三世代の交流の場を盛況下につくることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・マンネリ化を防ぐため各事業の内容選定に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・事業内容を検討しながら毎年継続する。

(1) 敬老お楽しみ会 (9/13日)

(2) 東山の下地区コミュニティ協議会 平成27年11月15日

コミ協・秋の行事盛りだくさん
敬老お楽しみ会・楽しみました落語やマジック、歌に踊りするなど

去る9月13日、中地区コミュニティセンターで第27回敬老お楽しみ会が開催され、約250名の参加者で賑わいました。
特に、振り込め詐欺に騙されないよう呼びかけた三流亭楽々さんの落語は拍手喝采でした。



(2) 福祉研修会 (11/18日)

グループ討議



(3) 歳末ゲーム大会 (12/20日)

ビンゴゲーム



千本つりゲ



ビンゴゲーム景品



東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：新潟市協働事業提案モデル事業
(東区工場夜景バスツアー)

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

・東区は「工場のまち」というイメージで、地味でむしろ少々暗さを感じる人が多いと思えた。東区の地域住民も自分達のまちにあまり魅力があるものはないと思っていた。
ところがある時、新潟県立大学の学生さんから東区には「工場夜景」の魅力が潜んでいると提言を受け、東区のPRと地域の活性化を図る目的で、平成25年度に本事業を始めたが、より拡大すべく平成27年度は新潟市協働事業提案モデル事業として行った。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・東区以外の人達にも多く参加してもらい広く東区をアピールする。
- ・参加者から本ツアーを通して更に東区をアピールしてもらおう。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・市報にいがた、東区だよりに事業の紹介・応募方法を広報してもらった。
- ・応募者の受付を市のコールセンターにお願いした。
- ・新潟県立大学の学生さんに「外からの目でみた」感想も入れたガイドをお願いした。
- ・メディアシップ展望台では、シティガイドの人にガイドをお願いした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・NPO法人まちづくり学校、新潟県立大学、通船川ルネッサンス

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

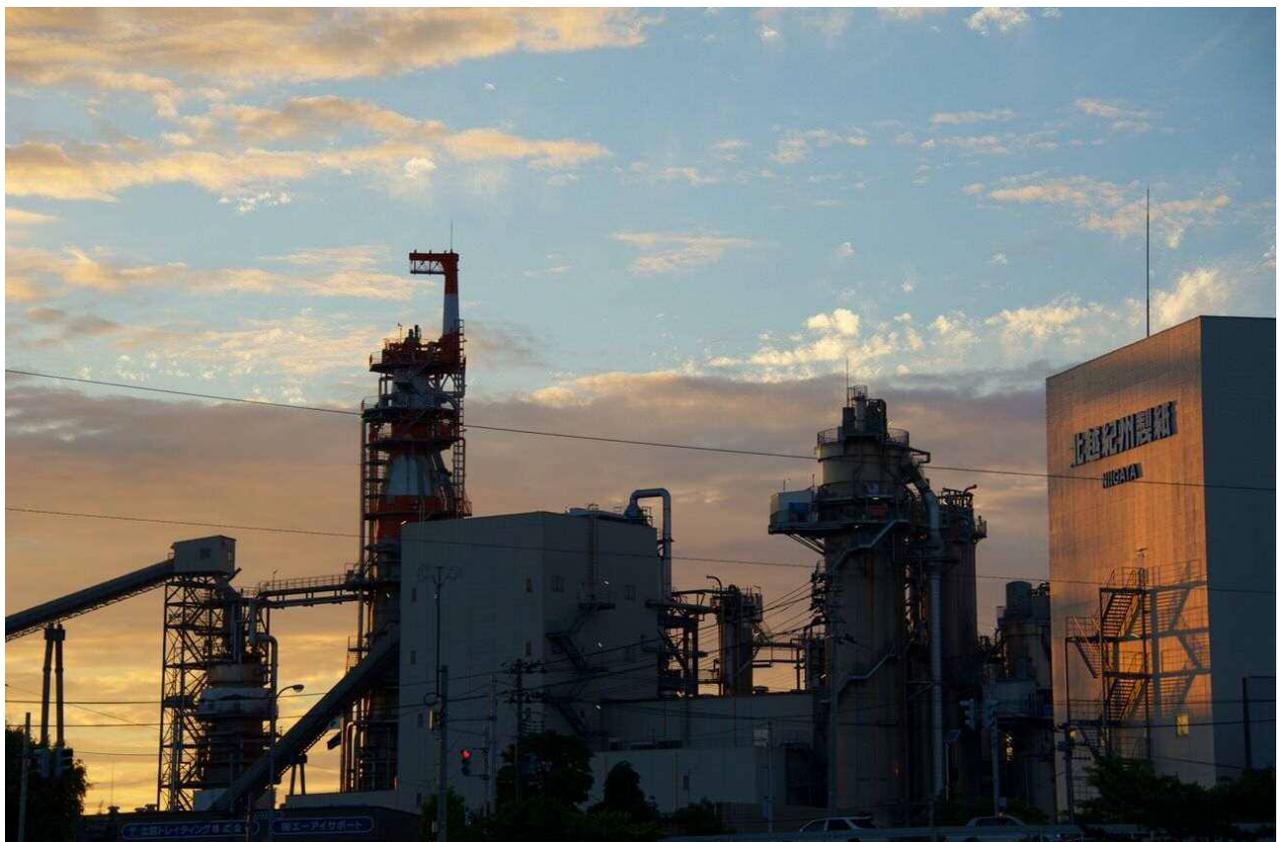
- ・東区に住む人たちは魅力あるこの町を誇りに思い、東区以外の人には東区の魅力を改めて感じてもらった。
- ・平成28年度には、東区庁舎誕生5周年の1事業に取り上げられた他、旅行者によっても更に7回のツアーが計画された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・当初参加者募集を先着順としたが、数十分程度で定員に達し、断らなければならない事態となった。
- ・これを踏まえ平成28年度は抽選とした。結果、参加出来ない方がまだ多く旅行者によって7回実施されることになった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・旅行者が商業ベースの費用で今後も参加者があり、事業として成り立っていくのであれば、東区のPRの面からも継続されることを望む。



東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：花いっぱい事業

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

コミ協発足当初、学校を中核としたコミ協活動を目指した。
伝統ある中野山小学校は、樹木は豊富な環境にあったが子どもたちには潤いを感じられない環境にあった。子どもが土に触れ、自分たちの手で環境改善に取り組む必要を感じた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

学校の周辺を花で飾り、潤いのある環境にする。
活動は、地域の大人と児童の協働作業とし、世代間の交流の場とする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

学校の環境を学校とコミ協で見直し、環境改善の目標を共有した。
最初に、アジサイプロジェクトを実施し、グラウンドの飛砂防止にも活用することとした。
東区の花「ポーチュラカ」を学校の周辺に咲かせ、地域住民にも広げてもらう。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市（主に東区役所）、中野山小学校、園芸業者、旧市立園芸センター

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

「ポーチュラカ」の植栽は、5年生の活動とし秋口には同じプランターでチューリップを植栽し、新1年生を華やかに迎えることができるようになった。

5年生の恒例の行事にしたことにより、学校も地域も共通の目標ができ、年々手際よく作業が進められるようになってきた。また、地域の人々の関心高まり植栽前の準備等も熱心に関わるようになってきた。（教育文化部が中心となる）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

花をきれいに咲かせるには年間の綿密な計画と持続的な手入れをする人が必要であり、この計画を推進する人の確保に工夫を要した。

地域住民には、子どもの活動やその成果を丁寧に広報するように努めている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後児童数の減少が進むが、植栽プランターの数には減らさず継続したい。さらに、公園等にも植栽を広げたい。

学校の保護者を含め、地域の大人には多くの人から交流に参加してもらおうよう働きかける。





江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名： 地域の茶の間「しののめ」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

全国的に地域の高齢化が問題となっている中、当コミ協区域内でも外出しないお年寄りが増えており、住民間でも関係性が希薄になっていく懸念があった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の茶の間を定期的で開催することで、引きこもりがちなお年寄りに外出するきっかけを提供し、顔見知りを増やし、地域住民との繋がりを広げていくことで、健康増進や地域住民による相互見守り効果を発揮できるようにする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

区役所だよりや回覧版等による周知活動のほか、スタッフ等の知り合いに声をかけ、認知度を高めていった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

江南区役所、社会福祉協議会等

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

リピーターとなった人たちが、知り合いに声をかけて来場するなど、茶の間の認知度は少しずつ高まってきた。利用者同士で会話や協働作業をすることで、顔見知りが増え、徐々に輪が広がってきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミュニケーションが気軽にとれるよう、スタッフの指導により折り紙づくりをしたりするなど、雰囲気づくりを大切にしている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

まずは一度、利用していただくことが重要なので、さらなる周知が必要と考えています。

気軽に利用してもらえよう、楽しいイベントや健康相談会などを開催し、利用者間で交流の機会が増えるような活動をしていきたいと考えています。

・地域の茶の間「しののめ」オープンセレモニーの様子
(平成27年9月16日)



・歓談の様子



秋葉区 新津東部コミュニティ協議会

活動名：第1回 東部コミ協 「夏祭り」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・東部コミ協地域内の「つながり、一体感の醸成」を目指したい。
- ・地域とパートナーシップ事業への支援(学・社・民の融合事業の推進)

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・新津第二小学校と協働し、地域内の「子どもから大人まで」が楽しめる「夏祭り」を
実行委員会形式で企画・運営を行うことで「つながり・一体感の醸成」を図りたい。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・チラシ・ポスターを作成し周知した。
- ・お祭り広場・物販ブース・盆踊りを実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新津第二小学校・PTA・秋葉区芸能協会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・新津第二小学校の全面的な協力によって特別授業を開催することが出来、コミ協の活動内容や、子供達の地域に対する思いを「ワークショップ形式」で行うことが出来、貴重なアイデア・意見が出されました。地域と学校との連携が深まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

準備期間が短く実行委員会形式で進めてきたが、実際は事務局が中心となり進めていかざるをえなかった。開催までのスケジュール等、協力者等と情報の共有をしておかなければならない。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・開催時期を夏休み最初の土曜日を設定したが、「子供達の夏休みのルール」との調整が必要ではなかったか。
- ・スタッフ、参加者で600名程度であったが、ビッグイベントにしていきたい。



秋葉区芸能協会の皆さんの「地方」と「唄」に合わせて、子供から大人まで、輪になって、『新津松坂』を踊りました。



金沢町屋台囃子の「子ども囃子」の皆さんに、『祭り囃子』を披露して頂き、「夏祭り」の雰囲気盛り上げて頂きました。

西区 西内野コミュニティ協議会

活動名：西内野あいさつ運動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域のコミュニケーションの減少。あいさつはコミュニケーションの基本であり、あいさつを通して児童・生徒の公共心や社会性を醸成していくことは、たいへん重要。あいさつの多い地域は防犯にもつながる。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

学校・PTA・地域が組んで取り組む。コミ協の青少年・文化部が主催。子どもたちをきっかけに大人も子どもの手本になるようなあいさつを推進。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ポスター、回覧版で運動の実施を周知。コミ協はベスト、PTAは腕章をつけて、自治会から5名の推進員を選出。登下校時にあいさつ運動を推進。振り返りシートの記入。学校は児童への指導を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西内野小学校、内野中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

あいさつを通して、地域の子どもたちに目が向くようになった。地域の子どもは地域で育つ、といった意識が増した。交通安全や道路標識、道路の形状など、普段気が付かなかったことに気が付き、結果、地域の安心安全につながった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

活動について、振り返りシートを記入してもらうことで、問題点などがよくわかり課題解決につながった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

初の取り組みだった。今後も継続し、運動期間ではなくても地域でよりよいコミュニケーションがとれる地域になるよう習慣づけられるといい。また、運動の周知のために次年度はのぼり旗などを作成し一層の推進をしていきたい。



児童の顔はわからないように加工してあります。

西区 コミュニティ中野小屋

活動名： 親子三代ふれあい会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民の融和と協調を図り、在宅福祉活動を推進し、住民の福祉向上と地域のより良い環境づくりに努めることを目的に平成3年に発足し、敬老会事業の他に独居老人世帯の友愛訪問などを実施している。

地区の敬老会は、婦人会主催であったが、この親子三代ふれあい会の発足にあたり、ふれあい会の敬老事業として実施することになり、平成3年度から「敬老会」というイベント名称を「中野小屋地区親子三代ふれあい会」に改称して実施している（敬老会は平成27年で65回、親子三代ふれあい会としては25回）

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

該年度に満75歳以上になる方を対象者とし、今回は572人いらっしゃった（出席者125名）。対象者全員に記念品を贈呈し、米寿の方32人にはお祝い品（座布団）と元中野小屋郵便局長からの色紙を贈呈している（出席者7名）。また100歳になられた方には、お祝い金を贈呈している（本年は該当者なし）。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

参加者は敬老対象者のほか、保育園・小中学校、福祉施設等を含む出演者、その他地区住民など600人規模のイベントになる。そこで、6月から自治連・コミ協で合同会議を始め出演依頼や記念品選定、企画運営の準備・PRを周到に行っている。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実行委員会である親子三代ふれあい会を組織するとともに、自治連絡協議会、老人クラブ協議会、民生児童委員協議会、防火連合会、農協女性部、西区社会福祉協議会、西地区公民館で組織されている。実行委員長にはコミ協会長、副会長に自治連・老人クラブ・民生委員の長が就いている。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

孫や子供の遊戯や演奏は、お年寄りに特に好評である。また、新潟県ミニコロニー構想に基づく最初の施設として設立されたみずほ園・第2みずほ園・みのり園や新潟あそか苑職員の劇や踊りは、常に喝采を得ている。後半のアトラクションでは、お年寄りが自ら出演したり、地区の様々な芸能団体の発表の場となったりしている。

水利を巡る過去の対立や地域性の違いを克服し、地域の一体感醸成にも効果的である。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加しようという気持ちを持っていただくための記念品の選定、幅広い年代層の出演者の確保や発掘、役員や自治会長の負担軽減 等

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地区では、このほか地区の文化祭として毎年瑞穂祭を開催している。中学校・小学校・JA・コミ協・自治連で開催。27年は第10回瑞穂祭を10月25日中学校とJA中野小屋支店を会場で開催。地区運動会が廃止になり、地区住民が集える行事として始まった。





西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪プレーパーク 8

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

少子化に伴い、地域での子育てが難しい時代を迎えている。また、地域の大人が参画することによって、子どもへの関心を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域における親子の安心安全な場所を作る。
2. 保護者に地域の担い手になってもらえるに働きかける。
3. 子ども達が自ら工夫し、遊びを作る力を育む。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域内の子どもとおとな及び域内の園に通う子どもと保護者にチラシを配布。
2. 工作コーナー、シャボン玉、ボールプール、面白自転車、ニュースポーツ、昔の遊び、子どもたちのフリースペースを作り自由に活動できるようにする。
3. ポップコーンコーナーを作り祭りの雰囲気を出す。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学校、わらべ会、ターゲットバードゴルフ協会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

子ども同士の活動が活発化した結果、中学生がリーダーとなって何も無い場所で小さい子どもも参加できるような遊び場をつくりだし、楽しく遊ぶ様子が見られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

安心安全に遊べる設備の工夫と安全への配慮。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後は更にこの活動を定着させ、地域の中学生が遊びのリーダーとして沢山のブースで活躍できるような仕掛けを作っていきたい。



実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 児童の登下校時における事故防止の心構えが出来た。（特に大型車への認識）
2. 参加した地域の高齢者に貴重な体験を教えることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 参加者全員から出来るだけ運転席を体験してもらうようにした。
2. 巻き込み実験では、段ボールを歩行者や自転車に見立て実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も別の視点で交通安全活動を行う。

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：トラック事故防止の交通安全教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子どもは身体が小さくトラックの死角になりやすい面を有しており、痛ましい事故も発生している。また、前年度、西区に於いて高齢者が大型車の左折巻き込み事故にあった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 子どもやお年寄りを大型トラックの運転席に乗せ運転者の死角を確認させる。
2. 事故被害の大きさを認識させる。
3. 交差点における巻き込みの危険性を学び、安全に関する意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

坂井東小学校及び新通小学校のそれぞれの学校に於いて、9 トンの大型トラックでの死角、交差での、巻き込み事故の怖さを認識してもらった。

平成 26、27 年度実施したので、その状況を 5 枚のパネル写真として作成し、坂井東小学校、新通小学校及び坂井輪地区公民館に展示し多くの人達に広報啓発を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟西警察署、丸互商会、坂井東小学校、新通小学校



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：交通安全ボランティア活動

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 日常生活の中で車が主流となっていること、また近年高齢化が進み高齢者が事故に巻き込まれることが多くなった。
2. 坂井輪中学校区地域の交通実態から交通安全推進活動が重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域住民の安全・命を守るため関係機関・他団体との連携を図る。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を作成し、各自治会に配布する。
3. 街頭指導で交通安全を呼びかける。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を80本作成し、各自治会に配布した。
2. 「交通安全のぼり旗」を持って交通安全の呼びかけを行った。
3. 反射材活用を促すチラシを作成し配布した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等があります

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 「交通安全のぼり旗」を目印に、地域住民の方々はじめ学童たちに注意喚起ができた。
2. ボランティア及び各自治会の協力を得、街頭立哨を行ったことで学童たちの登下校時のマナーが良くなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ボランティア及び各自治会からの街頭立哨の参加・協力を得ること。
2. 「交通安全のぼり旗」の設置場所に関しての住民からコミュニティの協力を得ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

交通量の多い道路を有する自治会を重点に交通事故防止活動を行う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報紙「さかい輪」発行

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 「かわら版 さかい輪」を5回発行した。
2. 広報誌「さかい輪」1回発行した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦勞したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様に「かわら版・広報紙」を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。

さかい輪

かわら版

第 15 号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

平成28年度定期総会を開催

平成28年5月22日（日）、西区役所健康センター棟3階会議室にて、坂井輪中学校区まちづくり協議会の定期総会が開催されました。

当日は、4月14日に発生した熊本地震で犠牲となった方々に黙祷が捧げられた後、議事が進められ、平成27年度活動報告並びに収支決算・会計報告及び、平成28年度活動計画並びに収支予算が承認されました。

平成28年度の主な活動

- 地域でがんばる産業マップづくり（10月発行）
- 坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座
（10月予定）
- 交通安全ボランティア活動事業
- 坂井輪プレーパーク9（10月10日（月祝））
- 地域と学校連携あいさつ運動（7月・10月）
- 坂井輪を花で飾ろう2016（6月、10月の2回）
- 坂井輪環境美化推進事業2016
- 寺尾地下道に子ども絵画展示（通年・常設）
- 子どものための安全教室（年3回実施）
- さかい輪健康づくり講座
- 防犯パトロール
- 交通安全街頭指導



他にもたくさんの事業を予定しています。



開会の挨拶をする梶原まちづくり協議会会長

平成27年度で役員を退任されたお二人に、長年の地域活動への貢献に感謝し、定期総会の後、梶原会長より表彰と記念品の贈呈がありました。（表彰された方）

伊田 修一 様（輪ノ内自治会）
青木 功 様（坂井東3丁目自治会）



定期総会の様子

平成28年度 坂井輪中学校区まちづくり協議会 役員名簿

会 長 梶原 宜教（連合自治部部長）	副会長 橋本 浩一（防犯・交通安全部所管）
副会長 郷 扶二子（子ども部部長）	副会長 長谷川 洌（文化・スポーツ部、福祉部所管）
理 事 内山 健作（防火防災部部長）	理 事 富田 繁男（防火防災部副部長）
理 事 山本貴美子 （防犯・交通安全部部長、女性支援隊隊長）	理 事 齋藤 憲一（防犯・交通安全部副部長）
理 事 小林 勉（福祉部部長）	理 事 皆川 直史（福祉部副部長）
理 事 船岡 征夫（生活環境部部長）	理 事 渡辺 穰（事務局長、総務部部長 文化・スポーツ部部長代理）
理 事 石田 一正（文化・スポーツ部副部長）	理 事 目黒 浩輔（広報部部長）
理 事 堀井 賢司（産業振興部部長）	理 事 平井 孝志（事務局次長）
理 事 南雲 貴博（子ども部副部長）	

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪中学校区「小学生と中学生が楽しく学ぶ防災」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害はいつ起こるかわからない状況であり、家族の不在時に災害が起こっても、自ら危険を回避する行動ができるような身近な防災を考えることが課題となっている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

今回は可能な限り震災時をリアルにイメージさせるために、大地震のつめ跡が今もそのままに残る地域に入り、被災者に会い、防災について真面目に向き合い考えるきっかけ作りを目的とする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

中越メモリアル回廊まで遠出し見学を行うことで、楽しみながら防災意識を身につける。また、小学校と中学校で行動し、交流を深め、協調性を身に付ける。中学生とおとなの防災ワークショップを行い、災害時の行動シミュレーションをとおして防災について考えるきっかけとする。子ども達の参加できる防災訓練について、大人同志で話し合いをした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

妙見メモリアルパーク、新潟NPO協会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

災害時には家族や友達や周囲の人々の安全にも配慮し、他の人の役に立つ行動ができるようになったと思う。デスクワークだけで学べない「なにか」を学び取ることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

中学生と地域おとなの防災ワークショップを行う。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害はいつどこで起こるかわからない。非常時に私たちを守ってくれる人たちがどんなところでどんな仕事をしているか、消防防災関係の施設を見学する。地域で実施する防災活動に、子ども達が参加しやすいように工夫する。



<元気なあいさつ いつも笑顔 地域で頼になる 安心の絆>

新通小学校と坂井東小学校の児童・坂井籍中学校の生徒、保護者の皆様へ

平成27年6月22日

坂井籍中学校区まちづくり協議会 会長 梶原 直教

坂井籍中学校区青少年育成協議会 会長 郷 扶二子

新潟市地域活動補助金
交付申請中

「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」 へ行こう！！

平成27年7月28日（火）

<スケジュール>

8:50 清水フードセンター坂井店駐車場集合 9:00 出発
16:00 帰清水フードセンター坂井店駐車場到着・解散

<見学場所>

- ◎おぢや震災ミュージアム そなえ館 (新潟県小千谷市上ノ山4-1-1 小千谷市防災学習センター「新集館」025-25-7402)
- ◎山古志 震災跡地 (新潟市山古志町沢)
- ◎妙見メモリアルパーク (新潟県小千谷市津原地区)
- 昼休憩は、山古志会館 (新潟市山古志町沢)

<申込方法> 下記の申込用紙を7月×日（△）までに各学級担任に提出してください。
※定員100名を予定しています。申込者が多い場合は抽選をさせていただきます。参加される方には7月×日までにハガキにてご連絡を差し上げます。

※昼食はお弁当を準備いたします。雨が予想されるので、帽子・飲み物等の準備をお願いします。

問合せ先： 郷 扶二子 090-4811-0294

-----（きりとり）-----

「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」 申込用紙

「小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足」に参加します

申込み×切り
×月×日（△）

学校名 _____ 学年 _____ 組

（ふりがな）

氏名 _____ 保護者氏名： _____ 印 _____

住所 _____ 緊急連絡先（TEL） _____

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：子どもの居場所事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 子どもの数が減少する現社会において、子育てが課題となっている。
2. 地域の大人が、様々な立場で話し合い共に力を合わせ地域の子育てを醸成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域に於ける、親子の安心・安全な居場所を作る。
2. 保護者世代に地域の担い手となってもらう意識を持ってもらう。
3. 地域の子供を地域で育てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 地域運営ひまわりクラブを見学し、学習会を行った。
2. 子どもの工作教室を夏休み期間に行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 学童保育についてまち協の理事、子ども部部員が学び理解することができた。
2. 地域で運営するひまわりクラブを見学することにより、地域運営によるひまわりクラブの様子が分かった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

来年度からモデル事業を受けるという事で、まち協内の意見の集約が得られ、地域の子どもは地域で見守るということを共通認識ができた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

課題としては、特定の人がモデル事業運営で苦労することなく、関わる人の輪を広げ地域の子どもを地域で育むという意識を広げていくことが必要だと思う。モデル事業を実施しながらもっと子どもに関わる人の発掘が必要だと感じている。

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：文化と健康づくり事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

文化活動：JR 越後線「寺尾地下道」の開設に伴い、地下道の環境維持及び地域交流を図るため園児・小中学生の絵画を展示する活動。健康づくり活動：高齢化社会を迎え予防医学の大切さが注目されているため、地域住民で健康維持への関心を高める。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 絵画展示として保育園・幼稚園・小中学校から協力を得る。
2. 家庭で簡単にできる運動を指導する。
3. 参加者同士の交流を深め、地域づくりを推し進める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 関係者に依頼、絵画収集・地下道展示取り換え活動（2ヶ月毎）の活動。
2. 体力測定、筋力アップ運動を指導した。また、脳トレ運動とリズム体操を行った。
3. チラシ配布、広報紙に掲載した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

ダッシュスイミングスクール新潟、西区健康福祉課

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 地下道の環境維持、子どもたちの成長、地下道利用者からの好評。
2. 運動効果により健康維持の大切さは理解できたと思います。
3. 軽度な運動を通し地域住民の交流が行われ、地域のつながりはできたと思います。
4. 生活習慣を見直す機会ができたと思います。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 絵画展示板の改修。
2. 参加者の年齢差による運動方法の振り分け指導。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 絵画展示、健康づくりとも地域住民から好評を得ており、絵画展示による子どもの成長や健康運動を通じて、お互い地域交流を提供することができるので、今後も継続し実施したいと思っております。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：連合自治部広報紙「大道」発行事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会での中心的役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と意識啓発すると共に、地域住民に連合自治部の活動内容を周知する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心を担う各自治会はじめ地域住民に対し、連合自治部の活動の理解と地域活動への意識啓発を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

連合自治部で行った1年間の活動事業のトピックスを掲載し、地域活性化に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所 地域課

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミュニティ活動についての理解を得られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題を判断し、地域のニーズに合ったテーマ選択に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も連合自治部の1年間のトピックスを掲載し、地域住民の意識高揚を図る

2016

平成28年

1.25

所管 連合自治部

発行責任者 梶原宜教

大道

昭和48年初版

第75号

44自治会
8,481世帯

題字揮毫 篠田昭新潟市長



新潟市西区長 眞島 幸平

まちづくりの「輪」を広げて

新年おめでとうございます。坂井輪中学校区の皆さまにおかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。「坂井輪中学校区まちづくり協議会」におかれましては、坂井輪中学校区まちづくりセンターを拠点に、坂井輪地域の課題解決のため、昨年新設された防火防災部を

はじめ各専門部による多種多様な活動に積極的に取り組まれていることに、深く感謝申し上げます。また、毎年春と秋に近隣保育園の園児とともに、区役所庁舎の花植えにご協力いただき、この場をお借りしてお礼申し上げます。庁舎を訪れる皆さまからも、季節の花々を楽しんでいただいております。

現在、超高齢社会への対応が大きな課題となっておりますが、皆さまが高齢者支援のための人材育成や研修会などを実施され、地域として支え合う体制作りにご尽力いただき、大変心強く感じております。今後とも、皆さまのご活躍により、坂井輪地域の「地域力」がさら

に高まることを期待しております。西区が誕生して10年目の節目を迎えます。西区区ビジョンまちづくり計画を踏まえ、さらなる魅力と活力あふれる西区を目指して、皆さまとともにまちづくりを進めてまいります。ことしも、はつらつとした風通しのいい区役所づくりをモットーに、職員一同、笑顔を欠かさず全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。新年が皆さまにとって、幸多い充実した一年となりますよう心から祈念して、年頭のあいさついたします。



坂井輪中学校区まちづくり協議会 会長(連合自治部長) 梶原 宜教

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。坂井輪中学校区内自治会の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年の連合自治部活動では、地域自治会の活性化を図るための自治会長研修や、地域の民生委員、友愛訪問員との三者合同による研修、そして合同防災訓練など、地域自治会が直面する大きな課題についての取り組みを行って参りました。

また、昨年、地域自治会活動の実態と課題把握のためのアンケート調査を行いました。この結果に基づきましては、2月中旬に皆様のお手元に届くよう作業を進めているところです。できればこの調査内容をもとに、2・3自治会の役員の皆様と「自治会活動の課題解決策や活性化」について意見交換を行ってみたいと思っております。地域の自治会活動の活性化が求められる中で、当坂井輪中学校区内では新たにラベスト亀貝自治会が加入し44自治会となりました。しかし組織的に脆弱で活動の停滞している自治会も多くみられ、連合組織としても再三にわたって各自治会の皆様に組織の活性化を訴えて参りましたが、結果、未だ今年の実施事業にも全く参加いただけない自治会もあり残念でなりません。

地域の活動母体としては、やはり生活の根幹となる自治会の皆様を中心であり、地域住民との「絆」を深めた活動が大切であると思っております。新潟市では、「政令市にいがたセカンドステージ」とした新たな総合計画が27年度からスタートし、その中で西区でも区の姿として5つの方向を示し、特に地域と行政が一体となった活動を目指すとしております。

今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄りにやさしい、安心安全な住みよい地域づくり」のため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。各自治会の皆様にとりまして、今年が新しい活動の第一歩となる良き年となりますようお祈り申し上げます。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：「狭あい道路の解消」行政コンサルとの共同研究
参画(継続)

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の道路が狭く行き止まりが多くある。災害時の避難路が確保しにくいため歩行者の安全・安心を十分に確保できないなどの生活基盤が整備されていない。(継続事業)

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

現実的に住民や地域で出来ることを考え、解決に向けたイメージから具体的モデル地域を設定し提案すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 行政と協力しコンサルによる街づくり勉強会(4回)を実施した。
2. 狭隘道路・行き止まり解消向けモデル地区の実態を調査した。
3. 解決課題に論点を絞り目指す街づくりイメージを検討し対象地域との協議を進めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政より外部コンサルタント派遣を受けた。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

モデル地区の実態を調査し目指す街づくりイメージを検討し、対象地域との協議を進める事が出来た。

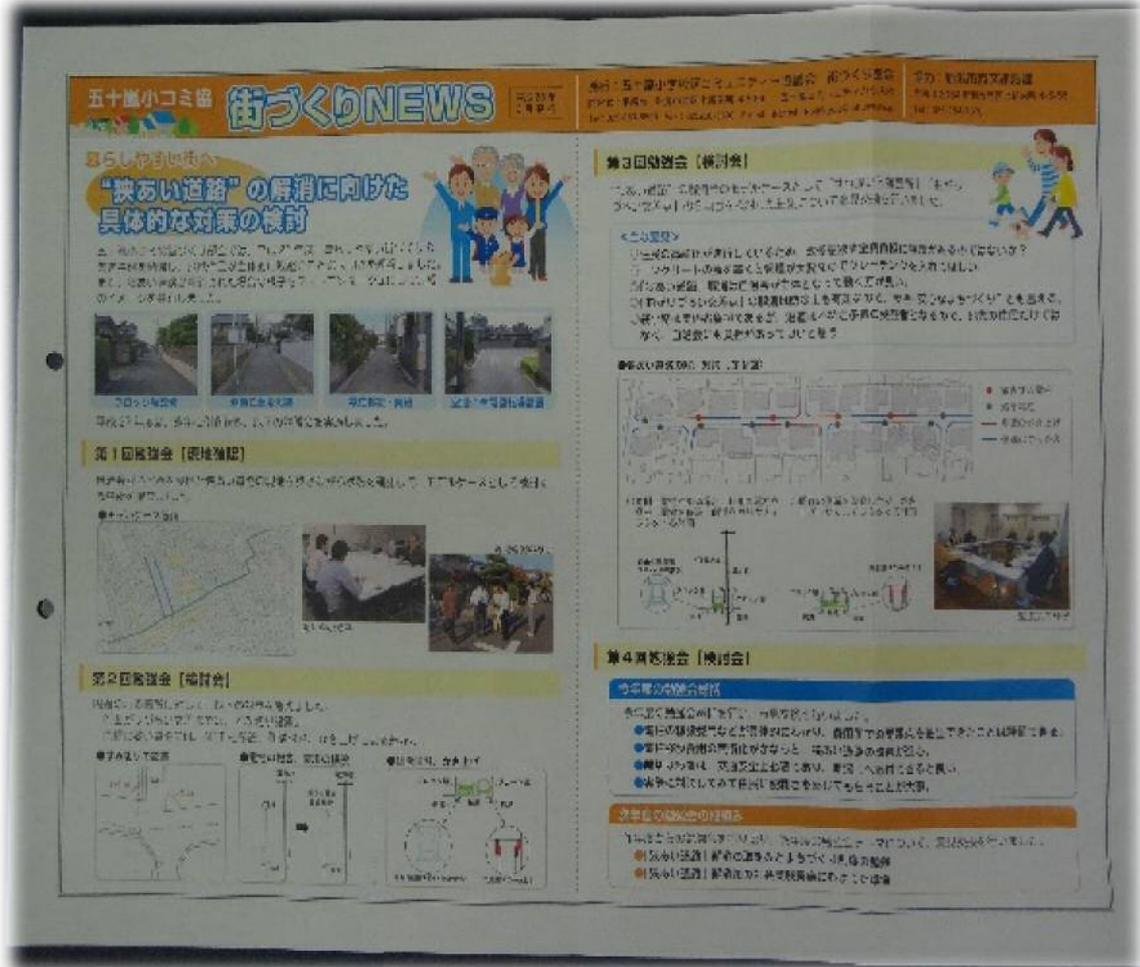
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

区の街づくり特定事業とし予算的な措置についてコンセンサスを得ること

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

対象地元自治会及び住民の方々へ丁寧な説明と協力をお願いする活動を、行政と連携し街づくり部会として推進する。

区・コンサルタント・街づくり部会との「狭隘道路解消」勉強会 年4回



西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：私たちの海岸保安林保全活動(継続)

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

海岸沿って植林された松林も近年急速にマツクイムシ被害が拡大しその美しい松林が立枯れし飛砂・塩害が日常生活へ大きな影響を与えることが心配されている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

海岸保安林の保全の大切さを理解し私たちが何をすればよいのか、行政、地権者、活動ボランティアと一緒に、地域一体感を醸成し保全活動を進めること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 県・市・ボランティア団体とコミ協との合同保安林保全整備の計画立案。
- 2, 機関紙やコミ協諸会議を通じ各自治会長、関係者との意識疎通の醸成。
- 3, 多くの方々に参加いただける開催日(9月下旬)の設定。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

海岸保安林保全活動ボランティア3団体・地域内の大学他

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多くの人々に保安林保全活動の大切さと具体的活動の意識付けができたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- 1, 先人達のこの地を強風よる飛砂・塩害など自然災害から暮らしを守るこれまでの努力・成果・必要性が気薄となり今の生活環境が当たり前のように受け止められていること。
- 2, コミ協各自治会長に地域の垣根を越えた保全活動の大切さと実践活動への理解・協力をお願いしたこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1, 重要継続事業とし、多くの方々から理解と協力を得られる体制づくり。
- 2, 自治協議などを通じて「海岸一斉清掃」行事例のように、広域全体活動として定着ができるよう提言して行くこと。

9月 行政・地域・ボランティア団体との海岸保安林保全整備活動



西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：真砂文化祭開催事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家などの発表の場がない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

芸能、芸術文化活動をしている人々に発表の場を提供し、活動している人々の達成感と地域の人たちに芸能や芸術文化に触れる機会を提供する事に、より関心を持って貰うと共に活動への参加や創作意欲の醸成を促し、地域活性化を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 芸能部門発表：民謡、楽器演奏。合唱など
- ② 芸術部門展示：せいか、絵画、書、写真などの展示

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

明倫短期大学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 発表の場の提供により成果発表による達成感を持ち、気力体力の保持促進が図られた。
- ② 市域の人々に芸術、芸能文化に触れる機会を提供、関心を持って貰うことが出来た。
- ③ 出演や展示募集により、隠れた人材の発掘につながり、地域活性化が期待される。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

事業計画の周知を図るための「コミ協事業検討チーム」（コミ協役員8名、3自治会会長、真砂小学校、明倫短大）を構成し概要を検討、芸術展示、芸能発表場所の視察等を行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も継続実施を図る。

- 1、場の提供により成果の発表による達成感を持ち気力体力の保持増進に繋がる。
- 2、地域の人に芸能、芸術文化に触れる機会を提供。関心を持ってもらい広がりが期待出来る。
- 3、出演や展示募集により隠れた人材の発掘に繋がり、地域活性化が期待できる

西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：青少年健全育成部会事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子どもたちにとっての安心安全な街づくり、健全育成を進める上で、子どもたちと地域の方々とのふれあう機会、関わりが少なくなってきた。コミュニティ協議会によるこれまでの活動で少しずつ交流の機会は増えてきているが、十分に改善しているとは言えない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

真砂小学校の子どもたち・保護者・教職員及び地域の方々が共に参加できる事業として、真砂小PTA・まさごわくわくスクールと連携して「まさご体験教室」を行い、共にふれあいお互いを知り合う機会とする。また継続的なあいさつ運動を通じて更なる交流の進展をはかる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

昔の遊びを中心とした「まさご体験教室」を開催し、地域の方からの作り方の指導など、子どもたちや保護者と地域の方々との交流をはかる。真砂小学校文化祭・PTAふれあい広場に参加し、遊びの場を共有することで、遊び方を教えあうなど、子どもたち、保護者、教職員、地域の方々などとの交流をはかる。まさごわくわくスクール(土曜日午前中に年間約20回開催)に継続的に参加して、あいさつ運動を通じて子どもたちの活動に積極的に参加して、地域の方々と子どもたちの交流の日常化を進める。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

なし

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

「まさご体験教室」を毎年楽しみにしているとの声や、家でも遊んでいるとの声をかなり聞いた。PTAふれあい広場「プレイゾーン」では昨年同様いろいろな昔遊びを経験し、多くの世代交流が見られた。子どもたちの遊びが上達している。昔の遊びは大人も子どもも一緒に出来る物が多く今後も継続する事によって、保護者、教職員、地域の方々の交流が広がってきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

各々児童者数100名の参加を想定したが、昨年より10名程度の減少だった。大きなトラブルもなく安心して運営することが期待される。多くの遊具類の保管場所確保が今後の課題。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

真砂小PTAは事業・体制の改革を進めている。コミ協に関する部分では「PTAふれあい広場」の見直しが検討されている。部会としては、コミ協とワクスクの包括的な運用を目指していきたい。

西区 山田校区ふれあい協議会

活動名：夏休み前のふれあいクリーン作戦

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

隣近所、地域住民の意思疎通を図ることができないか。
併せて爽やかな汗をかき健康増進することができるか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

近隣同士に声を掛け合い、助け合いの輪を広げ、新たなつながりを生み出すこと。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

子どもたちが夏休み前の朝7時～1時間程度、涼しい時間帯に近隣の公園を清掃する。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

参加者133名で、予想以上の人たちが清掃活動を通じて親睦の輪が広がった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加者の輪を広げるため、広く広報すること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

毎年、定例で実施したい。

活動事例（平成27年度）

【夏休み前のふれあいクリーン作戦】

